

日刊 [華鐘通信]

2020年2月21日(金)
第4687号

発行：華鐘コンサルタントグループ
ニュース提供：時事通信社

DAILY HUAZHONG NEWS

★新型コロナウイルス関連ニュース

(当分の間、本記事と「華鐘グループのお知らせ」のどちらかを掲載します。)

- 上海市、2月17日から『随申碼』の試験実施をスタート 2
- 浙江省、『健康碼』による通行を実施..... 3

★中国ビジネス相談Q&A

- 北京市における感染症防止管理期間中の状況について..... 4
<新型コロナウイルス><北京><管理制御><業務再開><企業支援策>

★本日のニュース

【経済】

- 中国航空市場に急ブレーキ＝新型肺炎で大手3社輸送8割減..... 6
- 中国企業の海外M&A額、31%減＝19年一米会計事務所EY..... 6

【政策】

- 抗マラリア薬とインフル薬を追加＝中国・新型肺炎治療計画..... 6
- 湖北省、肺炎最前線の医療従事者に支援策＝子女高校入試で加点も 7

【産業】

- コストコ、ディズニーランド近隣に中国2号店＝蘇州にも出店準備 7
- 春秋航空、50億元の社債発行へ＝上海市..... 7
- 晶澳、義烏で太陽電池セル増産へ＝102億元投資－浙江省..... 8
- 渤化集団、次亜塩素酸ナトリウム消毒液の生産、急きよスタート 8
- 一汽轎車と一汽解放の再編計画、当局が承認＝上場目指し資産交換 8

【社会】

- 義烏の雑貨卸売市場、営業再開＝浙江省..... 9
- 肺炎流行で湖北省に寄付1,813億円、医療物資は依然不足..... 9

為替レート(20日、中間値)		株価指数(20日終値) 値指数	
通貨		前日比増減	
1人民元＝	0.14280 米ドル	-0.00003	上海総合株価指数 3030.15
	1.10999 HKドル	0.00030	前日比(ポイント) 54.75
	15.88184 日本円	0.18449	前日比(%) 1.84
	0.13210 ユーロ	-0.00023	取引額(万元) 41,376,100.00
			前日比(万元) 3,243,000.00

★ **新型コロナウイルス関連ニュース**

■ **上海市、2月17日から『随申碼』の試験実施をスタート**

日刊『華鐘通信』No.4684にてご紹介した通り、上海市政府は2020年1月9日、騰訊、阿里巴巴、万達のネット大手3社と共同でスーパーアプリ『随申弁』の運用開始を発表しました。

そして、今般の新型コロナウイルス感染拡大に対応し、人員の予防管理に便宜を図るため、上海市がスマホの『随申弁』をベースに構築した『随申碼』が、2月17日より試験実施をスタートしました。『随申弁』のアプリかアプレットにアクセスし、『随申碼』を検索して、実名認証をするだけで利用が可能となり、QRコードを読み込み、識別すれば個人の健康管理状態に関する情報等を知ることができます。(上図が『随申碼』で表示されるQRコードです)



『随申碼』はビッグデータのプラットフォームにつながっており、データ分析評価後、システムが個人のレッド、イエロー、グリーンの3種類のリスク状態を検出し、人員出入管理の判断の参考とすることができます(以下の通り、3種類のカラーでそれぞれの状態に対応し、対策をアドバイスしてくれます)。

『随申碼』カラー表示	状況判断	実施対策
レッド	医学管理措置下にある、診断確定され入院中、感染の疑いがあるなどの人員	要隔離
イエロー	重点地区から上海に来て14日未満の人員	要観察
グリーン	異常が見られない人員又は医学管理措置が解除された人員	通行可

情報によれば、現在、『随申碼』は既に上海の園区、市・鎮等の多くの現場で試験実施されており、そのサービス対象は主として以下の2種類に区分されます。

1. 一般大衆向け：居住区、事務所等へ出入りする場合の「出入証憑」の参考とする。
2. 交通チェックポイント、コミュニティの予防管理人員、ハイテクパーク、オフィスビル人員による予防管理作業向け：予防管理に携わる人員は、通過者が提示した『随申碼』をスキャンすることで通過者の基本情報、健康予防管理情報、眼下の位置付け情報をチェックすることができ、素早い情報の記録、情報の報告・確認をすることが可能。

また、『随申弁』を通じて新型コロナウイルス予防管理専門欄では多くのサービスを連動して提供しています。要隔離と要観察の人員については、「我的防疫戦(私の防疫戦)」という健康チェックサービスを使用し、毎日の体温を記録して自分の健康チェックができます。上海に戻る予定の人員は、「来滬人員健康登記(上海来訪者の健康登記)」サービスでオンラインによる記入が可能です。あわせて、2月13日にオンラインした「解除医学管理措置查詢(医学管理解除措置照会)」システムでは、自分自身や他人の医学監察措置状態や解除時期等を照会でき、「企業復工人員網上登記(企業の職場復帰者向けネット登記)」システムを通じて職場復帰状況の登記が可能となっています。

(情報ソース：「上海発布」微信公式アカウント)

■ 浙江省、『健康碼』による通行を実施

杭州市が全国に先駆けて、感染症防止期間中における個人の状態を記録する『健康碼』(右図)を使った通行方式を打ち出した後、この通行方式は瞬く間に浙江全省に広がりました。2月17日(月)より、浙江省各市の住民は「支付宝(アリペイ)」にログインして『健康碼』を取得することができ、このQRコードを以て通行が可能になります。

『健康碼』は「グリーンコード、レッドコード、イエローコード」の3色による動態管理を実施しており、同時に『釘釘企業復工申請平台(職場復帰申請プラットフォーム)』に繋がります。グリーンのQRコードが表示される人には「通行」が点滅、レッドコードとイエローコードが表示される人には自己隔離と健康記録チェックが必要となり、条件クリア後にグリーンコードに変わります。

住民は支付宝のトップページで「所在都市+健康碼(健康コード)」(例:温州健康碼)を検索、健康申告記入ページにアクセスし、必要情報を入力して取得後に支付宝の右上に表示された「卡包(カードフォルダー)」で照会します。オフラインでの検査時に、スマホを取り出して支付宝でグリーン健康碼を提示すれば通行可能となります。

また、浙江省高速交通警察も2月19日0時より正式に「健康出行申報(健康外出申告)」再チェックシステムの利用をスタート。高速道路から浙江省に入る人は全員、先ず支付宝で「浙江健康碼(所在都市+健康碼)」をオンライン申請します。浙江健康碼がグリーンコードを表示すれば申告が可能となり、申告完了後、このグリーンコードをスクリーンショット保存して浙江省に入る際のチェックに備えます。浙江健康碼がレッド又はグリーンを表示した場合、申告することはできません。

浙江省高速交通警察は、車道区分通行措置を実施します。具体的には次の通りです。

➤ 浙江健康碼のみを申請し、「健康外出申告」をしていない場合

浙江省検査地点からコード未取得車道に入り、浙江健康碼を提示して車両と人の確認登録を行い、体温測定をします。必要時間は5~6分。浙江健康碼がグリーンを表示した場合、通行が可能となります。レッドやグリーンが表示された場合、始発地に戻るようによります。

➤ 浙江健康碼グリーンコードを取得済であり「健康外出申告」を完了している場合

高速公路防疫検査地点から入った後、健康外出コードと身分証を提示するだけで、体温測定完了後、専用車道を通行することができます。15秒前後で全てが完了します。

このほか、『四証』(交通運輸部門が交付する『新型コロナウイルス感染の肺炎流行予防管理物資及び人員運輸車両通行証』、『貸切車両通行証』、『長江デルタ地区統一通行証』、公安部門が交付する『省疫病予防管理車両専用通行証』)を保有する車両、4種類の特種車両(救急車、消防車、工所用レッカー車、パトカー)、統一標識を保有する郵政車両に対し、従来の管理予防政策に基づき検温後、優先専用通路通行を実施します。その他の貨物輸送車両については、体温測定、チェック・記録後に通行が可能となります。

(情報ソース:「浙江新聞」微信公式アカウント、浙江省高速交通警察公式微信プラットフォーム)



★ 中国ビジネス相談Q&A

■ 北京市における感染症防止管理期間中の状況について

Q: 新型コロナウイルスが拡大する状況において、北京ではどのような管理が行われているのでしょうか。また、企業の業務再開にあたって何らかの措置や支援策はあるのでしょうか。

<新型コロナウイルス><北京><管理制御><業務再開><企業支援策>

A: 北京地域における感染症の拡大を防止、制御するために、2月14日、北京市は北京に戻ってくる（以下、帰京と略）全ての人に対し、北京到着後14日間の在宅観察または集中観察措置を実施しています。また、2月10日以降、条件に合致する北京市の企業は相次いで業務を再開しています。感染症拡大が企業に与える影響を軽減するために、北京市政府も、企業が感染症に対処して困難を乗り越えることを支援する一連の措置を導入しました。

1. 帰京者（国外からの帰京者を含む）に対する14日間の在宅観察または集中観察措置について

北京市は依然、感染症予防管理の重要な段階にあり、北京市衛生健康委員会が発表した情報によると、2月16日24時現在、北京市で感染症の確定診断を受けた症例は累計で381例、うち退院は114例、死亡は4例、重体は23例です。

したがって、北京新型コロナ肺炎感染予防管理作業指導グループ弁公室は、北京市政府が1月31日に公布した『更に責任を明確にし、新型コロナウイルス感染による肺炎の予防・管理作業を強化することに関する通知』（京政発〔2020〕2号）に基づき、2月14日に再び以下の通知を発行し（下表参照）、同日より、全ての帰京者（国外からの帰京者を含む）に対し、14日間の在宅観察または集中観察を行い、これを拒絶する場合は法に基づき責任を追究することを明確にしました。

この措置がとられる前は、湖北省からの帰京者にのみ14日間の強制的在宅隔離措置を採り、その他の地域からの帰京者には自身による隔離を提案していましたが、2月14日以降は、他の地域から帰京する全ての人に対し、湖北籍でない人も含めて、在宅隔離し、14日間の健康管理を実施するよう要請し始めました。この健康管理には、体温のモニタリングや症状の照会等が含まれます。

また最近では、北京の首都機能の中核地域である東城区でも、居住区（コミュニティエリア）に立ち入る住民は体温測定を受け、臨時通行証のチェックを受ける必要があるなど、コミュニティの「封鎖式管理」を始めています。通行証は、不動産所有権証または不動産賃貸契約に基づいて発行され、所有者と賃借者の証書は色が異なります。世帯毎に最多2枚で、出入りする回数の制限はありません。警備員によると、北京市が以下のように通知して以降、コミュニティの感染症防止管理措置は更に強化され、他の地区から北京に戻ってきた人に対し、詳細な情報登記と分類の手引があるとのことでした。

感染症防止管理期間中の帰京者に対する要求の更なる明確化に関する通知

本日より、全ての帰京者は、北京到着後14日間の在宅観察または集中観察を実施しなければならない。在宅観察、集中観察等の防止管理措置を拒否した場合は、法に基づき責任を追究する。帰京する前に、北京での所属企業及びコミュニティ（村）に報告しなければならない。

ここに通知する。

北京新型コロナ肺炎感染予防管理作業指導グループ弁公室

2020年2月14日

2. 企業の再開状況

上海等の主要都市と同様に、北京市は2月10日(月)から、条件に合致する多くの企業が相次いで業務を再開しています。一部の企業では条件付きの在宅勤務やローテーション勤務を実施しています。また多数が集まる形式の会議をできるだけ減らし、ウェブテレビ会議を採用して、日常の業務連絡や業務配置を行っています。更に、オフィスビルでも、ビルに入る時の体温測定や湖北省及び武漢からの帰京者に対する管理を強化するなど、一連の措置を講じています。

3. 支援措置

感染症拡大が企業に与える影響を軽減するための策として、北京市政府は、以下のような一連の措置を導入し、企業の安定した発展を支援するとしています。

No.	文件番号	文件名称	公布機関
1	京政弁発 〔2020〕7号	<u>新型コロナウイルス感染による肺炎流行の影響に対応し、中小零細企業の継続的で健全な発展を促進するための若干の措置</u>	北京市人民政府 弁公庁
2	無	<u>新型コロナウイルス感染による肺炎流行の影響に対応するための、一部行政事業費用の徴収停止に関する通知</u>	北京市市場監督 管理局
3	京人社就字 〔2020〕14号	<u>北京市財政局の、感染症防止管理期間中の就業に関する通知</u>	北京市人力資源 社会保障局
4	京人社就字 〔2020〕15号	<u>感染症の影響に対応するための、中小企業の安定した就業の支援に関する問題についての通知</u>	
5	京文資函 〔2020〕8号	<u>京政弁発〔2020〕7号文書による中小零細企業の不動産賃貸料減免の実施に関する通知</u>	北京市国有資産 監督管理委員会
6	無	<u>感染症の防止、管理を支援する措置についての説明</u>	国家税務総局北 京市税務局
7	無	<u>北京経済技術開発区管理委員会の、中小企業の感染症対策クラウドオフィスの着実な発展の支援に関する若干措置</u>	北京経済技術開 発区管理委員会
8	朝政弁発 〔2020〕2号	<u>北京市朝陽区人民政府弁公室の、企業が新型コロナウイルス感染による肺炎流行に対応し、着実に発展することを支援する若干措置</u>	北京市朝陽区人 民政府弁公室

4. 一部ホテルの営業状況

感染症防止管理期間中の北京の一部ホテルの営業状況は、次のとおりです。

ホテル名	宿泊要件
長富宮飯店	Ctrip.comでのみ予約可、14日間連続の宿泊が必要。チェックイン後の外出の可否は判断待ち。
新世紀日航飯店	湖北省の人及び湖北省の人と接触したことがある人は、宿泊不可。チェックイン後の外出の可否は判断待ち。
北京四季酒店	湖北省の人及び湖北省の人と接触したことがある人は、宿泊不可。チェックイン後の外出の可否は判断待ち。
北京昆侖飯店	湖北省の人であるか、湖北省の人と接触したことがないか、質問される可能性あり。湖北省の人は、チェックイン時に病院が発行した健康証明を提出する必要あり。チェックイン後の外出の可否は判断待ち。
北京嘉里飯店	最近は全ての宿泊予約を受け付けておらず、受付再開時期は暫時未定。

(作成：北京分公司 楊利英)

★ 本日のニュース

【経済】

■ 中国航空市場に急ブレーキ＝新型肺炎で大手3社輸送8割減

中国ニュースサイト、東方財富網が19日伝えたところによると、世界一の米国を追い越す勢いで世界第3位に浮上した中国の航空市場に、新型コロナウイルス感染による肺炎の拡大で急ブレーキがかかった。航空情報サービスのOAGアビエーションがこのほど発表した統計によると、中国の航空市場規模（1月20日～2月17日）は航空需要の急減による相次ぐ欠航・減便で、ポルトガルを下回った。

中国国際、南方、東方の航空大手3社の輸送量は通常に比べて8～9割減の水準に落ち込んだ。国際路線では、南方航空と東方航空の運航規模はそれぞれ、エア・カザフスタン、チュニスエアのレベルに縮小した。4位の海南航空はこのほど、中国人乗務員に1カ月の無給休暇を取得するよう要請。一部の外国人操縦士には退職を迫った。

国内の「ドル箱」路線も大幅な減便に追い込まれ、最も利用者が多いとされる北京－上海は1日の運航本数は1桁台に減少。北京－広州、北京－成都はいずれも同8便まで減便された。業界関係者は「新型肺炎は中国航空市場にかつて例のない打撃を与えている」と指摘した。（上海時事）

■ 中国企業の海外M&A額、31%減＝19年－米会計事務所EY

中国ニュースサイト、中国新聞網が19日伝えたところによると、米会計事務所大手アーンスト・アンド・ヤング（EY）の調査で、中国企業による海外での企業の合併・買収（M&A）が2017年以降、縮小を続けていることが分かった。19年のM&A総額は686億ドルと、前年比31%減少。減少幅は前年比28.1ポイント拡大した。M&A件数は23.5%減の591件。

国内での外貨取引規制の強化や、欧米で広がる対中投資への警戒の高まりなどを受け、M&Aに慎重姿勢を示す企業が増えているという。ただ、19年後半は回復基調に転じ、金額ベースの減少幅は2.8%と、上半期から53.1ポイント改善した。

地域別では、アジアが19.1%増の223億ドルと最も多く、全体の約30%を占めた。業種別では、情報通信サービスや金融・リース、不動産、ホテル業など非製造業の比重が高かった。

EYの中国事業幹部は、今後は新型コロナウイルス感染による肺炎の拡大が中国企業の対外投資に及ぼす影響について、注意深く見守っていく考えを示した。（上海時事）

【政策】

■ 抗マラリア薬とインフル薬を追加＝中国・新型肺炎治療計画

【北京時事】中国国家衛生健康委員会は19日、新型コロナウイルスによる肺炎の治療計画を改定し、

試用する薬に抗マラリア薬「リン酸クロロキン」と抗インフルエンザ薬「アルビドール」を加えた。これまでの臨床試験で一定の効果が確認できたため、試験対象を拡大する。

感染経路については、飛沫（ひまつ）感染と濃厚接触感染が主としながらも、「閉鎖空間で長時間、高濃度のエアロゾル（浮遊する微粒子）に触れた場合の感染の可能性」を追加。空気感染に近い感染もあり得るとの認識を示した。

一方、湖北省で早期治療のため13日から採用した「臨床診断」による感染確認は廃止した。

■ 湖北省、肺炎最前線の医療従事者に支援策＝子女高校入試で加点も

中国湖北省はこのほど、新型コロナウイルス対策の最前線で従事する医療関係者に対する支援策を発表し、省内の指定病院や臨時医療施設での連続勤務期間が原則的に1カ月を超えないよう、各方面に指示した。中国新聞網が18日伝えた。

医療従事者のウイルス感染や体調不良などを防ぐため、他地域からの支援要員も適切にコントロールし、合理的な休息時間を確保するよう求めた。宿泊場所には医療機関周辺のホテルなどを充て、可能な限り1人1部屋を確保することも指示した。

支援策ではまた、最前線の医療従事者を奨励するため、子女が今年、高校入試に相当する「中考」を受けると場合には10点をプラスすることも求めた。（時事）

【産業】

■ コストコ、ディズニーランド近隣に中国2号店＝蘇州にも出店準備

中国ニュースサイト、全景網が19日伝えたところによると、会員制量販店世界最大手、米コストコの中国2号店が、上海市浦東新区の康橋地区にオープンする見通しとなった。上海市当局がこのほど明らかにした。商圈人口が多い上、上海ディズニーランドに隣接する立地条件から、中国旗艦店と位置付けられ、同社の中国地域本部も併設するという。開業日などは未定。

2号店の敷地面積は4万7,000平方メートルと、1号店の3倍に相当する広さ。昨年8月、上海虹橋国際空港近くでオープンした1号店は、開業初日から客が殺到。営業時間の短縮を迫られ、中国で大きな話題を集めた。新型コロナウイルス感染による肺炎の拡大が続く中でも、客足は途絶えていないという。

コストコはまた、上海市に近隣する江蘇省蘇州市でも出店準備を進めている。企業登記情報検索サービス「天眼查工商訊息」によると、コストコの現地子会社「開市客蘇州貿易」が1月16日に設立された。資本金は4億4,200万元。（上海時事）

■ 春秋航空、50億元の社債発行へ＝上海市

中国ニュースサイト、中国証券網によると、上海市を拠点とする格安航空会社（LCC）の春秋航空（上海市）は18日、総額50億元の社債を発行する方針を明らかにした。償還期限は5年。調達資金は運転

資金や融資返済に充てる。

一方、同社がこのほど発表した1月の乗客数は前年同月比4.69%増の181万6,060人。搭乗率は7.85ポイント低下の82.37%だった。

国内線の乗客は3.41%減少したが、国際線は53万8,270人と31.4%伸びた。

同社は1月末時点でエアバスA320シリーズ95機を運航中で、うち新規導入は2機。1月に遼寧省瀋陽と大阪を結ぶ新路線を就航させた。(上海時事)

■ 晶澳、義烏で太陽電池セル増産へ＝102億元投資－浙江省

中国ニュースサイト、中国証券網によると、深セン証券取引所の中小企業ボードに上場する太陽電池大手、晶澳太陽能科技（JAソーラー）は18日、投資計画を見直し、浙江省義烏市で太陽電池セルの生産を拡大する方針を明らかにした。

当初は66億元を投じ、年産5ギガワット（GW）の太陽電池セル工場と同10GWの太陽電池モジュール工場をそれぞれ建設する計画だった。見直し後は投資額を102億元に増やし、太陽電池セルの年産規模も10GWに引き上げる。2期に分け建設する。うち第1期工場は2021年末に稼働予定。

同社はまた、河北省寧晋県の傘下工場で設備改修などに11億3,000萬元を投じ、太陽電池セルの年産規模を3.8GWに拡大する。工期は8カ月の予定。(上海時事)

■ 渤化集団、次亜塩素酸ナトリウム消毒液の生産、急きょスタート

中国国有大手化学品製造会社の天津渤海化工集団（渤化集団、天津市）は、天津市当局の要請を受け、新型コロナウイルスの感染対策に必要な次亜塩素酸ナトリウム消毒液の生産を急きょ始めた。天津日報（電子版）が18日伝えた。

渤化集団傘下の天津大沽化工は、中国で「84消毒液」と呼ばれる製品の原料である次亜塩素酸ナトリウム溶液を生産していたが、消毒液そのものは生産していなかった。しかし、感染対策の必要から、製造工程を定めるとともに、急ぎ製造許可証を申請し1月28日に取得した。

渤化集団傘下の試薬メーカー、天津市化学試剤研究所も、「84消毒液」の製造許可証を得て製造に着手し、早くも1月29日から供給を始めた。

これら2社が製造した「84消毒液」は、天津、北京、河北、広東などの各地に送られて消毒液需要を満たし、市場の安定に役立ったという。(時事)

■ 一汽轎車と一汽解放の再編計画、当局が承認＝上場目指し資産交換

国有大手自動車メーカー、中国第一汽車集団（一汽集団、吉林省長春市）の乗用車製造子会社で、深セン証券取引所上場の一汽轎車（同）は18日、兄弟会社の商用車メーカー、一汽解放汽車（同）との資産交換などの資産再編計画を、中国証券監督管理委員会（証監会）が承認したと発表した。経済メディアの第一財經が同日伝えた。

一汽轎車の昨年4月の発表によると、同社は自社の全資産を一汽解放汽車と等価交換する。完了後、一汽轎車は商用車メーカーに転換する。

一汽集団は、中国国有自動車メーカー上位6社の中で唯一、グループ全体での上場を実現していない。グループ内の上場会社である一汽轎車と天津一汽夏利汽車（一汽夏利、天津市）の両社がともに乗用車メ

一カーで、上場規則違反の「同業競争」にあたることが一因だった。今回の資産交換で上場に向け、一歩踏み出すことになる。(時事)

【社会】

■ 義烏の雑貨卸売市場、営業再開＝浙江省

中国ニュースサイト、浙江在線が19日伝えたところによると、浙江省義烏市にある世界最大の日用品雑貨卸売市場「義烏国際商貿城」が18日、一部営業を再開した。テナント関係者を中心に1万人が入場し、久々のにぎわいを取り戻したという。新型コロナウイルス感染による肺炎が拡大する中、日用雑貨品の世界的な中心地である義烏の混乱が最小限に抑えられ、出稼ぎ労働者の職場復帰や市内商工業者の活動再開を後押しできるか、関心が集まっている。

営業を再開したテナント関係者の間では「メーカーの操業再開がまちまちで、納期の見通しも全く見えない」と心配する声や、「新型肺炎の影響で、海外の顧客が中国製品の調達に慎重な姿勢を示し始めている」危機感を訴える声も聞かれた。

場内では感染予防措置として、再開された第1、2エリアの出入り口16カ所に、発熱を見分ける赤外線サーモグラフィ装置を配置。こまめな消毒も実施した。入場の際には、専用アプリを通じた住所や氏名、最近の滞在歴など、個人情報の提出が義務付けられている。(上海時事)

■ 肺炎流行で湖北省に寄付1,813億円、医療物資は依然不足

中国湖北省の新型コロナウイルス対策本部は18日、ウイルスによる肺炎の流行以降、企業や団体、個人などから同省に寄せられた寄付金が17日正午までに計115億4,300万元(約1,813億円)となったことを発表した。このうち省宛てが56億5,000万元、武漢市宛てが43億1,100万元だった。新華社が18日伝えた。

同省には各所から防護服やマスクなどの支援物資も17日正午までに計6,880万8,800点寄せられた。このうち医療用防護服は68万8,800点、N95規格のマスクが134万9,900点、医療用などのマスクが2,450万3,000点、ゴーグルと防護マスクが計63万7,600点、消毒用品が325万7,500点。

ただ指揮本部によると省内では依然として防護服、医療用マスク、ゴーグル、人工呼吸器、心電図モニター、呼吸治療器、オゾン発生器などの物資が不足している。(時事)

以上

日刊 華鐘通信 (非売品：会員内部刊行物)

発行：華鐘コンサルタントグループ 大阪市中央区道修町二丁目2番11号ベルロード道修町ビル4階

郵便番号：541-0045 電話：+81-6-6232-0775 FAX：+81-6-6232-0776 Email：news.jp@shcsnews.jp

発行責任者：古林恒雄